

シリーズ

平塚のお祭り①

豊田の太鼓

秋祭りの季節を迎えました。9月から10月にかけて、平塚では中原日枝神社、横内御霊神社、四之宮前鳥神社、大神寄木神社などの大きなお祭りが行われます。今回は、例年10月第一土曜日に開催される豊田の豊八幡神社のお祭りを紹介します。

豊田のお祭りの特色は太鼓です。17時にバス停・豊田本郷駅周辺に8自治会のトラック山車が集結して神社へ向かい、18時の宮付後は太鼓の叩き合いとなります。参加自治会は、本宿、豊中、平等寺、宮下、小嶺、打間木、西町、箕子橋です。8つの太鼓連が力の限り叩き出す音量は圧巻です。叩き合いは21時頃まで続きます。

こうした叩き合いを平塚では"太鼓の競り合い"や"けんか太鼓"といって、昔から盛んでした。豊田以外に中原や北金目も盛んですし、昔はどこのお祭りも競り合いがつきものでした。たとえば、城所では近村の太鼓連を互いのお祭りに呼び合い、戦前は最大7カラ(組)の太鼓をヤグラに並べ、芝居の幕間にパパンとやり合ったといひます。青年たちの大きな楽しみだったのです。

豊田では、太鼓を鳴らすためにいろいろな工夫をしています。縮太鼓の革は毎年数枚新調するのですが(小田原囃子など



は10年以上同じ革を使います)、革を選ぶのにいくつかチェックポイントがあり、太鼓店で何枚もの革を吟味して納得がいくものを購入します。お祭り2~3週間前からは、子供が練習をしている傍らで、毎晩太鼓の革を足で踏み、カケヤで叩いて革を伸ばしては締めつけていきます。本番前は革の縫い目にボンドを塗って補強し、限界ギリギリまで締め上げます。そうして意気揚々とお宮の叩き合いに臨むのです。

太鼓店の方によると、平塚周辺は、昔から関東一(一説には日本一とも)、縮太鼓の革の消耗が激しく、パチもたくさん折るのだそうです。締めすぎて革を破り、ときには太鼓の胴を割ってしまうことすらあります。祭囃子は全国に存在しますが、こんなにもカンカンに締め上げた太鼓の音色は、おそらく平塚近辺でしか聞くことはできないでしょう。豊田のお祭りで体感してみてください。

(平塚市博物館学芸担当)



夢はみんなで作品展示発表会を!

市原 リオ

「タティングレース」は、欧州各地の貴婦人に愛されたクラシックレースの一つです。私が鶴沼の和服姿の老婦人に習ったのは、半世紀も前の女学生の頃です。タティングは、シャトルという小さな器具とレース糸さえあれば、いつでもどこでも楽しめます。ドイリー・テーブルセンター・ショール・ビーズを入れたネックレス等、美しく華やかな作品が出来ます。一人でも多くの方に伝えて、みんなで作品発表会を開くのが「私の夢」です。



市原 リオ

季節を感じられる七宝焼きを!

添田 冴子

七宝を習い始めた頃は、様々な技法でブローチ等を完成させることが面白くて制作を続けておりました。やがて銅版や銀板を切り、叩いてオリジナルの作品を作るようになり、形・色合い・技法で「春夏秋冬」を表せたら素敵だろうと、尽きない思いでアクセサリを仕上げる楽しさへと変わってきました。季節感のある七宝の美しさに感動を覚えていただけるような作品、世界でただ一つの作品をこれからも作って行きたいと思っています。



添田 冴子

TMOチャレンジショップのアーティストたち

TMO チャレンジショップ

市民の方々が製作した手づくり品を中心に、出展者ごとの小さなブース (①1坪スペース: 1ヶ所②50cm角ボックス: 64個③長さ150cmのボード: 4枚④ショーウィンドウ) に展示し、販売にチャレンジしているお店です。運営は平塚商工会議所が行っています。出展者常時受付中。 場所: 平塚市紅谷町12-20 問合せ先: 平塚商工会議所 0463(22)3939

平塚市文化振興基金にご協力を!!

平塚市文化振興基金にご協力いただいた方(敬称略) (平成19年5月から19年7月)

■明治大学校友会平塚地域支部 (5.3)



発行//平塚市(文化行政推進室) ●お問い合わせ及び寄付金のお申し込み

〒254-0045 平塚市見附町15-1



TEL 0463-32-2235 FAX 0463-31-6466

ご意見ご感想などお聞かせください(今後の参考とさせていただきます) →ご意見等はEメールで (E-mail //bunka@city.hiratsuka.lg.jp)